

議案第19号  
令和2年度宝塚市一般会計補正予算（第13号）

資料10 （373）新規路線についての地権者との協議の内容及び経緯について

今回の補正で減額する用地買収費の大半は、千種1丁目の市道用地の取得費です。

当該道路は、前所有者が敷地内通路として整備、利用されていたものです。前所有者の敷地の一部が都市計画道路荒地西山線整備事業（小林工区）の起業地であったことから、市が前所有者と用地取得協議を行ってきました。

一方、市上下水道局は、この敷地と隣接する小林配水池を含めた水道施設の統廃合事業用地として敷地を取得しようと協議を重ね、敷地内通路を含む用地を取得しました。

この敷地内通路には、隣接して残存する建物へのライフラインが埋設されており、公道化を図る必要があったため、市が用地費を予算化したものです。

現在、現地権者である市上下水道局と協議しており、それに時間を要することから、今回、予算を減額するものです。

